

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<32週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減したが、過去10年間の当該週と比較して本年第16週以降最高の値で推移している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-5

<咽頭結膜熱> 定点当たり報告数は例年よりかなり多い状態で増加していたが、第30週になり減少に転じ、第31週、第32週ではわずかに減少した
<手足口病> 定点当たり報告数は1995年、2000年に次いで多くなっていたが、第30週になり減少に転じた



病原体情報
P.6-7

患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 手足口病患者から分離されているウイルス / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス



速報
P.8-10

手足口病に脳脊髄炎を合併した10カ月女児からのエンテロウイルス71型の検出 - 島根県 / エンテロウイルス71型による手足口病の流行 - 広島県 / 急性ウイルス性肝炎のまとめ(2003年1~7月)



海外感染症情報
P.11-13

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 2003年8月21日現在 / リベリアでのコレラ流行 - 更新2 / フランスでのレジオネラ症 / 供血血液でのウエストナイルウイルス検出 - 米国、2003年 / スウェーデンにおける野兔病流行 - 2003年7~8月



感染症の話
P.14

<今週はお休みです>



読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(32週)
P.16-22



32週のデータ
P.23-31



発生動向総覧

第32週コメント 8月14日集計分

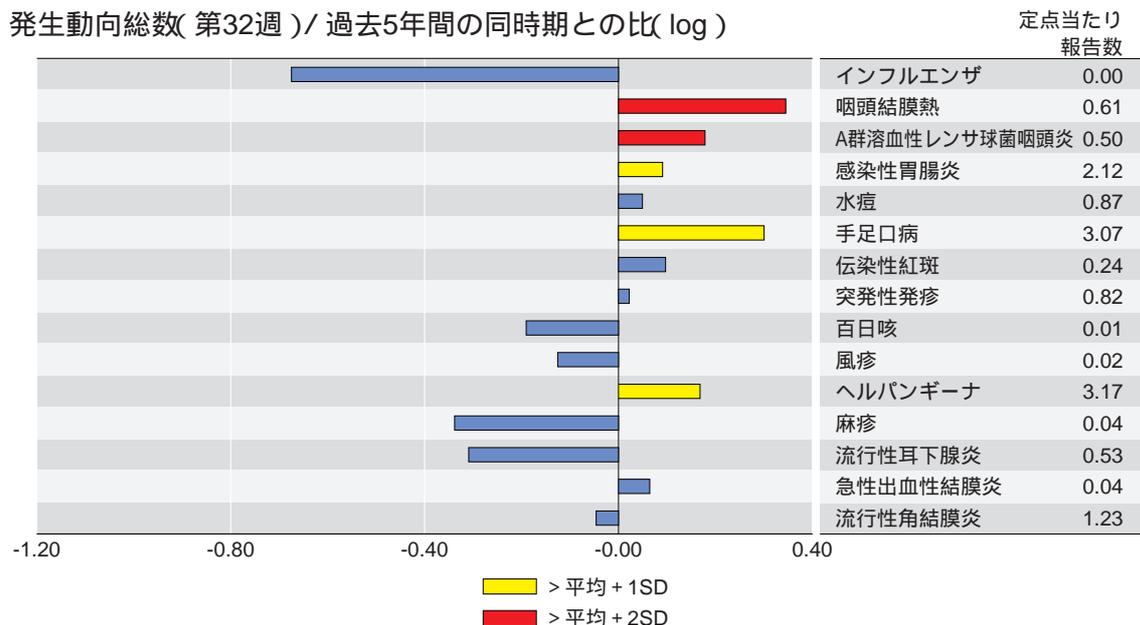
全数報告の感染症

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：細菌性赤痢 19例(推定感染地域：国内14例、インド1例、インド/ネパール1例、フィリピン1例、インドネシア1例、不明1例)
* 鹿児島県の老人福祉施設での集団発生(ソンネ赤痢菌)11例を含む
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 66例(うち有症者42例)
報告の多い都道府県：兵庫県11例、大阪府10例
血清型・毒素型：O157 VT1・VT2(30例)、O157 VT2(12例)、O26 VT1(7例)、その他(17例)
年齢：10歳未満(40例)、10代(7例)、20代(6例)、30代(3例)、40代(3例)、50代(5例)、60代(0例)、70歳以上(2例)
- 4類感染症：アメーバ赤痢 6例(推定感染地域：国内4例、タイ1例、不明1例)
急性ウイルス性肝炎 4例 A型2例(推定感染地域：国内1例、イタリア1例)
B型1例(推定感染経路：性的接触)
サイトメガロウイルス1例
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性、72歳)
後天性免疫不全症候群 10例(AIDS 2例、無症候7例、その他1例) 男性：9例、女性：1例
推定感染経路：性的接触9例(異性間3例、同性間6例)、不明1例
推定感染地域：国内8例、ナイジェリア1例、不明1例
ジアルジア症 2例(推定感染地域：タイ/パキスタン1例、タンザニア1例)
ツツガムシ病 1例(青森県)
デング熱 1例(推定感染地域：インドネシア)
日本紅斑熱 1例(島根県)
梅毒 2例(とともに早期顕症)
破傷風 1例(87歳)
マラリア 1例(三日熱) 推定感染地域：ミャンマー)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。

発生動向総数(第32週) / 過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

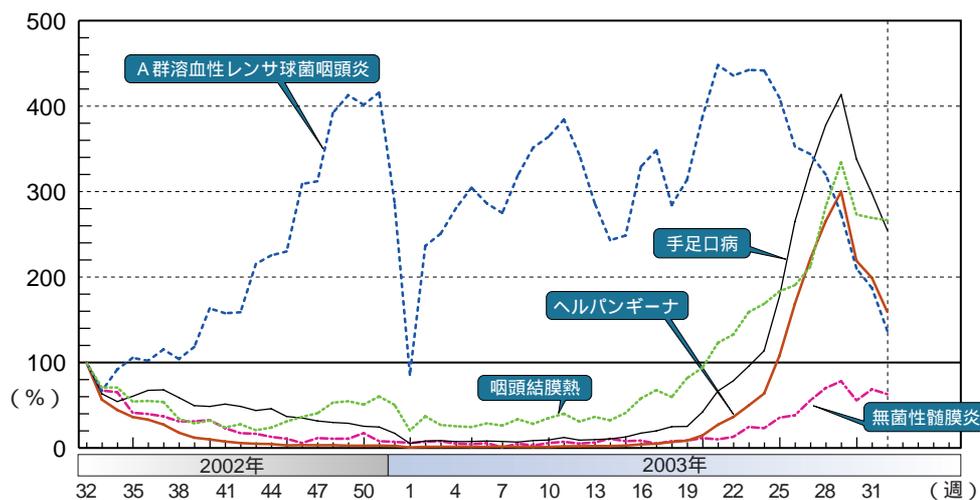
小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減したが、過去10年間の当該週と比較して本年第16週以降最高の値で推移している。都道府県別では大分県(2.1)、愛媛県(1.6)、長野県(1.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去10年間の当該週と比較して27週以降最高の値となっている。都道府県別では、鳥取県(1.4)、富山県(1.3)、宮崎県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去10年間の当該週と比較して最高の値となっている。都道府県別では宮崎県(5.4)、鳥取県(5.3)、福井県(4.6)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去10年間の当該週と比較して最高の値となっている。都道府県別では山口県(8.6)、青森県(8.4)、愛媛県(7.9)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去10年間の当該週と比較して最高の値となっている。都道府県別では福島県(8.5)、長野県(7.3)が多い。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.18で、過去4年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では沖縄県(0.9)、大阪府(0.7)、岩手県(0.6)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は減少して0.18で、都道府県別では奈良県(1.0)、鳥取県(0.8)、石川県(0.6)が多い。

最近の注目疾患－1年間の動き

 今週号より「5週の動き」のグラフを「1年間の動き」に変更しました。

過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第32週)



2002年第32週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。

咽頭結膜熱：夏季に報告数が多いが、第29週をピークとし、その後は3週続けて減少している。

ただし、昨年同時期に比べて依然多い。

手足口病：夏季に報告数が多いが、第29週をピークとし、その後は3週続けて減少している。

ただし、昨年同時期に比べて依然多い。

ヘルパンギーナ：夏季に報告数が多いが、第29週をピークとし、その後は3週続けて減少している。ただし、昨年同時期に比べて依然多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：昨年同時期より多いが、ここ数週間減少し続けている。

無菌性髄膜炎：第29週でピークを迎え、その後はほぼ横ばいである。

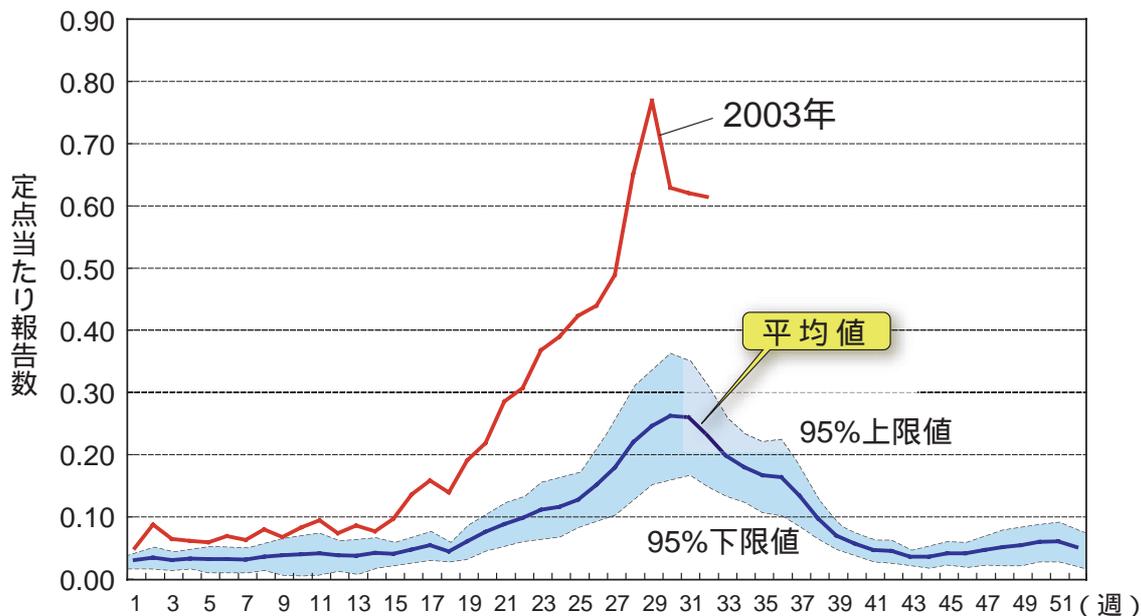


注目すべき感染症

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年よりかなり多い状態が増加していたが、第30週になり減少に転じ、第31週、第32週ではわずかに減少した。報告が多かったのは大分県(2.1)、愛媛県(1.6)、長野県(1.5)、鹿児島県(1.2)などであるが、前週に比べると減少している都道府県が多い。現在までに咽頭結膜熱患者から分離されている病原体は、アデノウイルス3型、2型が主である。1996 ~ 98年に増加して、肺炎などの重症例・死亡例が発生した7型も分離されている。

図 . 週別定点当たり報告数、および過去10年間の平均値と95%信頼区間

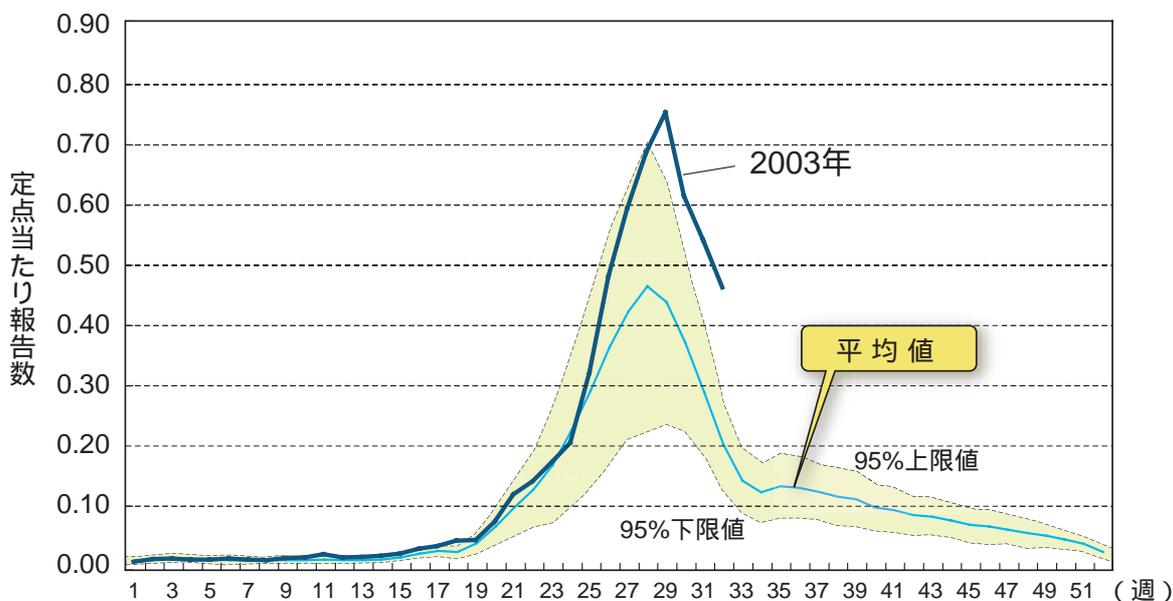


手足口病

1985年、1990年、1995年、2000年と5年おきに比較的大きな流行がみられている。今年は立ち上がりの初めのころ例年並みに推移してきたが、第25週から定点当たり報告数は急峻な立ち上がりを見せており、1995年、2000年に次いで報告数が多くなっていたが、第30週になり減少に転じた。

ここ3週間連続して減少しているが、過去10年間の95%上限値を超えている(図)。都道府県別の定点当たり報告数では多い順に山口県(8.6)、青森県(8.4)、愛媛県(7.9)などである。地研からのウイルス検出報告では、2001年、2002年にはA群コクサッキーウイルス16型が大部分を占めていたが、本年はこれまでエンテロウイルス71型が多く分離されており、また、すでに重症化例の発生も報告されていることから(速報参照)、依然監視が必要である。

図 . 週別定点当たり報告数、および過去10年間の平均値と95%信頼区間





病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年8月14日現在報告分)

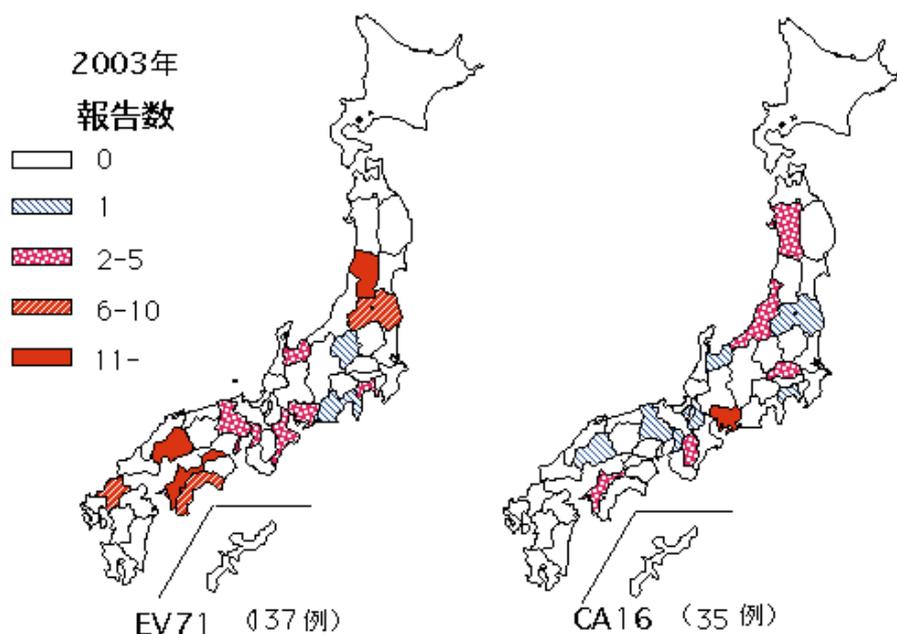
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は342件で、うちO157が252件、O26が67件、その他の血清型が23件報告されている。最近ではO157が第31週に大阪市(いずれもVT2)、徳島県(いずれもVT1&2)、熊本市(VT2)、O26が大阪市(VT1)で、いずれも散発、または家族内発生事例からの検出報告である。

手足口病患者から分離されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が137件で山形県38、香川県19、愛媛県18、広島県15(本号速報記事参照)、福島県10、高知県9など15府県から報告されている。A群コクサッキーウイルス(CA)16型は35件で、うち14件は愛知県からの報告であり、次いで新潟県4、埼玉県3、奈良県3など13府県から報告されている。その他にCA2が4件(三重県3、群馬県1)、CA6が3件(滋賀県、京都市、奈良県各1)、CA10が3件(奈良県2、島根県1)、CB2が2件(浜松市、広島市各1)、CA5が1件(島根県)報告されている。

都道府県別手足口病患者からのEV71&CA16分離報告状況, 2003年&2002年 (病原微生物検出情報: 2003年8月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

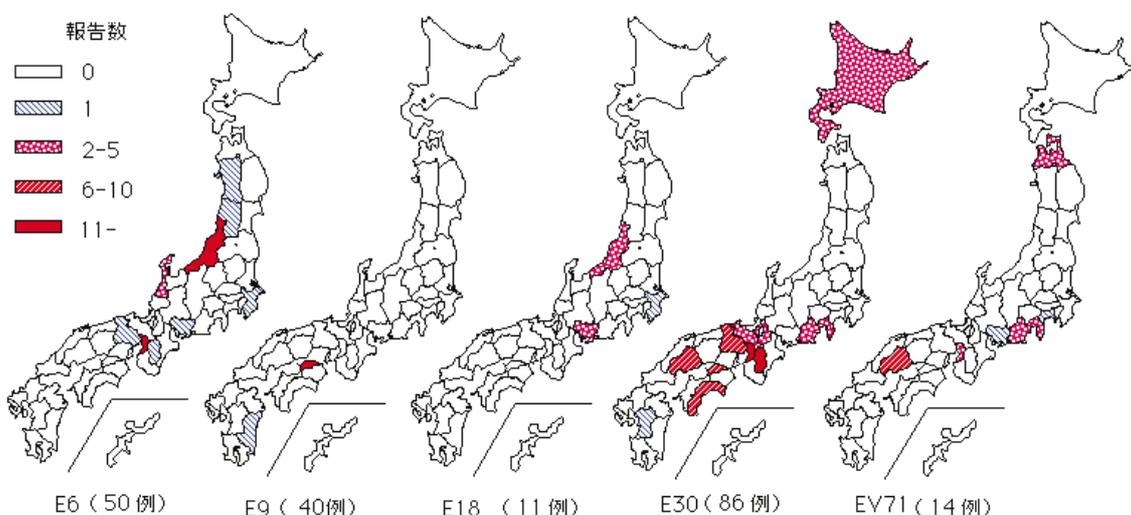
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が14件(広島県5(本号速報記事参照)、青森県2、浜松市2、大阪府2など)、エコーウイルス(E)が191件(30型86、6型50、9型40、18型11、7型2、13型1、16型1)報告されている。E30は近畿地方を中心に大阪府2(堺市10、大阪市6、その他13)、奈良県12、神戸市9など11道府県から報告されている。E6は大阪府2(大阪市10、堺市5、その他13)と新潟県14(新潟市1、その他13)を中心に9府県から報告されている。E9は香川県39、宮崎県1、E18は新潟県5、愛知県5、千葉市1から報告されている。その他、B群コクサッキーウイルスが24件(2型8、1型7、5型6、4型2、3型1)、ムンプスウイルスが13件(愛知県3、広島県3など)、A群コクサッキーウイルスが3件(2型1、9型1、16型1)報告されている。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告状況, 2003年

(病原微生物検出情報: 2003年8月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





手足口病に脳脊髄炎を合併した10カ月女児からのエンテロウイルス71型の検出 - 島根県

島根県では2003年第21週から手足口病患者が増加し、現在流行中であるが、脳脊髄炎による右上肢麻痺を合併した1例からエンテロウイルス71型(EV71)を検出したので、県内の無菌性髄膜炎、手足口病の流行状況と併せて報告する。

症例は10カ月女児。6月9日に発病し、39 の発熱と手足口病、右上肢麻痺を伴う脳脊髄炎を起こした。ウイルス感染が疑われ、髄液と咽頭ぬぐい液(6月13日採取)および糞便(6月16日採取)の検査依頼があった。培養細胞(AG-1、RD、Vero、FL)によるウイルス分離が陰性であったため、5 NCR-VP2領域のRT-PCRによるエンテロウイルス遺伝子検出を行ったところ、糞便から遺伝子が検出され、ダイレクトシークエンス後NCBI Blastを利用した相同性検索の結果、EV71と同定された。患者の症状は軽快したものの、現在も麻痺が残存しており、治療中である。

4月以降、本症例以外に手足口病、ヘルパンギーナあるいは発疹を伴った無菌性髄膜炎が5例認められており、手足口病に無菌性髄膜炎を併発した2例からEV71を検出した。内訳は、1カ月男児で糞便からVero細胞でEV71を分離、咽頭ぬぐい液からEV71を検出(RT-PCR)した例と、5歳男児で咽頭ぬぐい液からEV71を検出(RT-PCR)した例である。髄液の検査も行ったが、いずれも陰性であった。

一方、手足口病は2月以降、59例64検体について培養細胞(AG-1、RD、Vero、FL)と哺乳マウスでウイルス分離を行ったが、分離状況はEV71を中心としている。また、患者数は第28週をピークに減少傾向である。

なお、EV71はVero細胞のみで分離され、1983年分離株抗血清を用いて中和同定を行った。同定に際しては、ウイルスをフルオロカーボン処理することによって難中和性が回避された。

島根県保健環境科学研究所

飯塚節子 田原研司 糸川浩司 川向明美 板垣朝夫

(IASR2003年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

エンテロウイルス71型による手足口病の流行 - 広島県

感染症発生動向調査事業の報告患者数をみると、広島県における手足口病の定点当たり患者数は2003年5月第3週(第20週)から増加し、6月第4週(第25週)以後に急増した。7月第2週(第28週)には定点当たり患者数が24.12人となり、例年の6倍以上の患者数のピークを迎えた。その後の患者数は減少しているが、8月12日現在も完全な流行の終息には至っていない。

本年最初のエンテロウイルス71型(EV71)の分離例は、5月17日(第20週)に検体採取された手足口病患者からで、現在のところ、手足口病患者63名に由来する検体75件(咽頭ぬぐい液、髄液など)から29株のEV71が分離されている(分離陽性患者数は26名)。患者63名の年齢は0 ~ 8歳に分布し、そのうちの57名(90%)が1 ~ 5歳の幼児であった。なお、今回流行している手足口病では、例年に比べて無菌性髄膜炎を併発する症例が多く見られ、患者63名中の14名が髄膜炎症状を呈していた。髄膜炎症状を呈した患者の内訳は1歳が1名、2歳が3名、3歳と4歳が各1名、5歳が5名、6歳、7歳、8歳が各1名で、このうちの5名からEV71が分離された。また、脳炎が疑われた患者(1歳)先1名認めしたが、EV71は分離されなかった。なお、手足口病以外に発疹、口内炎、上気道炎、気管支炎の患者計5名からもEV71が分離されている。

ウイルスの分離にはRD-18S、Vero、FL、HEp-2、BGM細胞を使用したが、EV71が分離されたのはすべてVero細胞であった。ウイルスの同定は、感染研分与の抗血清(抗BrCr、抗C7/Osaka97、抗1095Shiga97)と、広島県で1978年に分離されたEV71株を用いて作製した抗血清(抗78-0345)を使用し、マイクロ中和法で実施した。すべてのEV71株は抗78-0345血清によりCPEの出現が強く抑制されたが、抗1095Shiga97血清ではほとんど抑制されず、抗BrCr、抗C7/Osaka97血清では全く抑制されなかった。

手足口病の主な原因ウイルスはEV71とA群コクサッキーウイルス16型(CA16)であるが、現在までのところ分離されたCA16は、6月の手足口病と咽頭炎の患者各1名からのみである。本県における今回の大規模な手足口病の流行は、EV71に起因するものと考えられる。

広島県保健環境センター・微生物第二部

島津幸枝 高尾信一 福田伸治 桑山 勝 宮崎佳都夫

(IASR2003年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

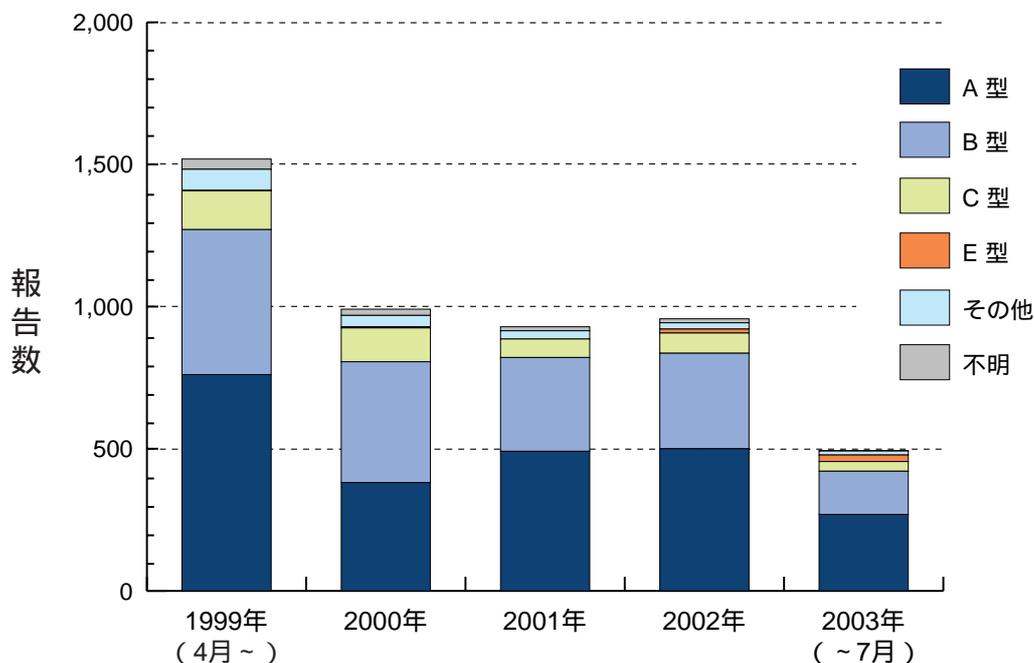
急性ウイルス性肝炎のまとめ(2003年1 ~ 7月)

2003年1月から7月31日までに報告された急性ウイルス性肝炎は、494例(昨年の同時期: 683例)であった。内訳は、A型肝炎269例(423例)、B型肝炎152例(191例)、C型肝炎34例(49例)、E型肝炎23例(0例)、その他1例(11例)、不明2例(9例)であった。

A型肝炎は234例(87%)が国内感染で、感染源・感染経路としては約3/4の報告例で飲食物が推定されているが、潜伏期間が平均1か月と長いこともあり、飲食物名の記載されたものは少ない。B型肝炎は国内での感染が135例(89%)と多く、感染源が不明な例は約4割と多いが、感染源の記載があった中のほとんどは性行為による感染例であった。C型肝炎では針刺し事故が原因と推定される報告が5例あった。E型肝炎は海外感染例と国内での散発例の報告が多かったが、兵庫と鳥取で野生動物の肉の生食を介する集団発生事例も報告されている。

なお、感染症発生動向調査の対象とされる「急性ウイルス性肝炎」は、ウイルス感染が原因と考えられる急性肝炎で、症状や所見から肝炎が疑われ、かつ、検査診断がなされたものであり、慢性肝疾患、無症候性キャリアおよびこれらの急性増悪例は含まれない。また、上記報告数は7月31日時点での暫定データの集計である。

図 . 急性ウイルス性肝炎の年別の推移



国立感染症研究所感染症情報センター



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 2003年8月21日現在

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	11	2
アーカンソー	3	
コロラド	263	6
フロリダ	4	
ジョージア	2	
イリノイ	1	
アイオワ	9	
カンザス	4	
ケンタッキー	3	
ルイジアナ	30	
メリーランド	1	
マサチューセッツ	1	
ミネソタ	12	
ミシシッピ	16	1
ミズーリ	1	
ネブラスカ	99	3
ニュージャージー	1	
ニューメキシコ	24	1
ノースカロライナ	2	
ノースダコタ	6	
オハイオ	9	1
オクラホマ	10	
ペンシルバニア	17	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	117	
テネシー	2	
テキサス	70	2
バージニア	2	
ウィスコンシン	1	
ワイオミング	31	
合計	753	16

(米国CDCホームページ<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm>より)

リベリアでのコレラ流行 - 更新2

WHO/CSR 2003年8月13日

WHOリベリア事務所によるコレラサーベイランスと流行抑制対策を支援するため、疫学者1名、コレラ対策チームの専門家1名、上下水道のエンジニア1名の3名からなるWHO専門家チームがリベリアに向かっている(既報参照)。目的は、対策に加わり、WHOアフリカ地域事務局と連携することである。主な注目点は、1,944名の患者が発生し17名が死亡しているMonroviaでのコレラ流行である。

フランスでのレジオネラ症

WHO/CSR 2003年8月14日

モンペリエのHerauld地方で、29名の患者と2名の死亡者が報告された。患者のうち2名については、1名がイタリアから、もう1名がオランダからEuropean Working Group for Legionella Infectionsを通じ報告された。予備的調査結果によると、患者の大部分がモンペリエの居住者、勤務者であるか、あるいは最近の旅行歴があった。

感染源を同定するため、Institute de Veille Sanitaireの協力の下で、さらなる疫学的調査および環境的調査が実施されている。

供血血液でのウエストナイルウイルス検出 - 米国、2003年

CDC/MMWR 52(32):769-772 2003年8月15日

2002年のウエストナイルウイルス(WNV)の流行中、16名のWNVウイルス血症患者から供血された血液により、累計で23名のWNV感染患者が報告され、推計で500名のウイルス血症の供血者から採血が行われた可能性がある。WNV流行が米国で再興する可能性のため、血液収集機関(BCAs)では全ての供血血液をスクリーニングし、感染の可能性のある血液を出荷停止あるいは回収するため、最近WNVの核酸増幅検査(NATs)を導入した。FDAはNATスクリーニングに加え、供血の1週間以内に頭痛を伴う発熱が見られた場合、問診により供血を猶予することをBCAsに対し勧告している。この報告では、2名のウイルス血症の供血者でのNATスクリーニングの詳細を記し、6月下旬から8月の間に市民から供血された血液の約95%を検査した結果を要約する。これらの予備的データは、スクリーニング検査がウイルス血症の供血者を同定し、汚染血液の供給を防ぐために有用であることを示している。

[スクリーニング手順]

2種類のWNVスクリーニングNAT検査法が、FDAによって認可された第II相新薬として頒布されている。ロシュ社の検査はTaqman法を用いた定量的リアルタイムRT-PCRであり、GenProbe-カイロン社はTMA(transcription-mediated amplification)法である。検査法により6検体(ロシュ)あるいは16検体(GenProbe-カイロン)のサンプルを混合し、NAT陽性であれば個別に検査を行う。一部の検査機関では、混合せずに個別に検査を行っている。

[血液供血者のWNVスクリーニング状況]

8月5日現在、スクリーニングが終了した約100万件の供血検体中、NAT法による検査で329件(約0.03%)がWNV感染陽性であった。329件中163件(約0.015%)はNAT追加検査で再度陽性になり、28件は保留となった。100万検体以上のスクリーニングは、同期間中に合衆国で得られた全供血血液の95%に相当する。しかしながら、検査は全供血血液に対して実施された。8月5日現在、州の保健当局は、38名のWNVウイルス血症疑いの供血者をArboNETに報告した。これらのWNVウイルス血症疑い供血者はコロラド州、フロリダ州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、ニューメキシコ州、サウスダコタ州、テキサス州から報告された。BCAにより確認された他の供血者に関しては、供血者の居住する州保健当局にもArboNETにも報告されていない。

スウェーデンにおける野兎病流行 - 2003年7 ~ 8月

Eurosurveillance Weekly: 2003; 7(33) 8月14日

2003年7月1日 ~ 8月11日の間に109例の野兎病患者 病因: *Francisella tularensis* var *holarctica*) がスウェーデン感染症研究所SMIに届け出られた。症例の60%は男性で、患者の大部分が勤労世代であった(表1)。今までの例では、典型的な場合、大部分の症例には明確な地理的集積がみられている。また、場所と総数は年代毎に大きく異なっている。

表1 . スウェーデンで7月1日 ~ 8月8日の間に届け出られた野兎病患者の年齢と性別分布

年齢 (歳)	女性	男性	総計
0 ~ 9	1	9	10
10 ~ 19	2	6	8
20 ~ 29	3	3	6
30 ~ 39	6	8	14
40 ~ 49	7	16	23
50 ~ 59	13	11	24
60 ~ 69	9	10	19
70 以上	3	2	5
総計	44	65	109

潰瘍リンパ節型が主体で、大部分の症例が蚊またはマダニ刺咬部位に生じる潰瘍と、引き続くリンパ節腫脹を訴えている。スウェーデンでの過去数年間はこのタイプであった。今年、吸入性曝露によると思われる少数の呼吸器疾患症例の集積が報告された。これらの症例は概して農夫であり、干草を扱う作業後数日以内に疾患を発症している。同様な農夫の吸入性曝露はスウェーデンとフィンランドにおける前回の流行でも報告されている。曝露経路によっては、野兎病は眼リンパ節型と口咽頭型を取りうる。

加えて、汚染地域のノウサギ2羽の国立獣医学研究所SVAにおける死後剖検検査で *F. tularensis* が検出されている。ヒト患者発生地域周辺では多数の患者届け出に伴って、ノウサギ、ハタネズミ、その他小型げっ歯類の死亡報告がなされた。自然界における *F. tularensis* の保有宿主は不明であるが、この菌が水中や泥の中で長期生存し、スウェーデンと東ヨーロッパの湖沼や河川に明らかに分布する点から、水に関連した保有宿主が示唆される。

最近のスウェーデンでの症例対照研究で、蚊の刺咬、ネコの飼育、農作業、森林地帯を訪れることは野兎病の独立した危険因子であることが示されている。この研究では症例の16%が入院した。発症後1週間以内に治療を開始すれば、野兎病は抗生物質治療に良く反応する。適切な治療を講じれば、*F. tularensis* var *holarctica* 感染の致死率は非常に低い。今季、野兎病による死亡例はSMIには報告されていない。

野兎病の届出が季節的に早いことは、届出症例の増加が急速であることと併せて、今年スウェーデンでは野兎病の流行年であることを示している。汚染地域の一部はノルウェー国境近辺であるが、ノルウェーからは8月11日までに届出症例はない。フィンランドでは、2000年の流行時に汚染地域から数十例の患者が報告されている。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

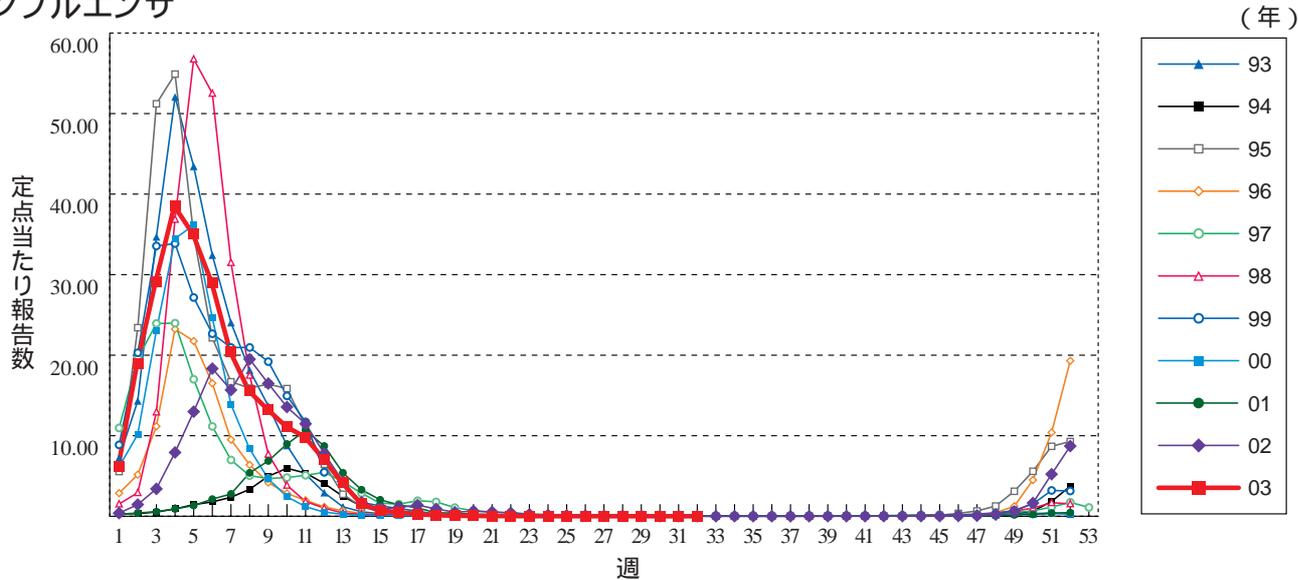
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

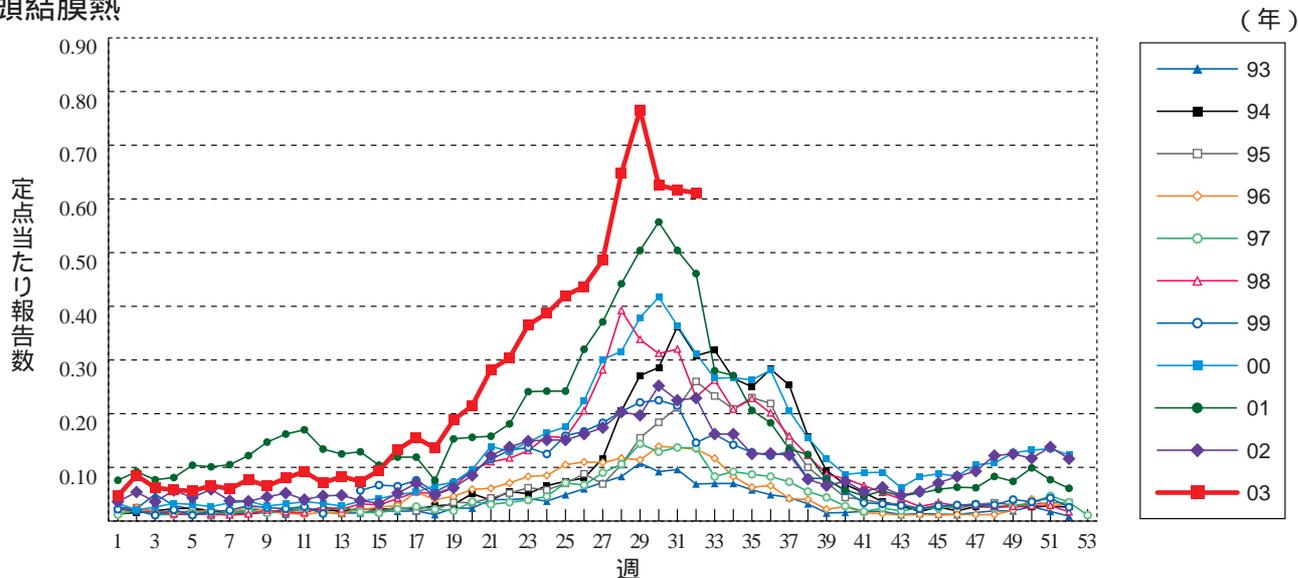


グラフ総覧(3 2 週)

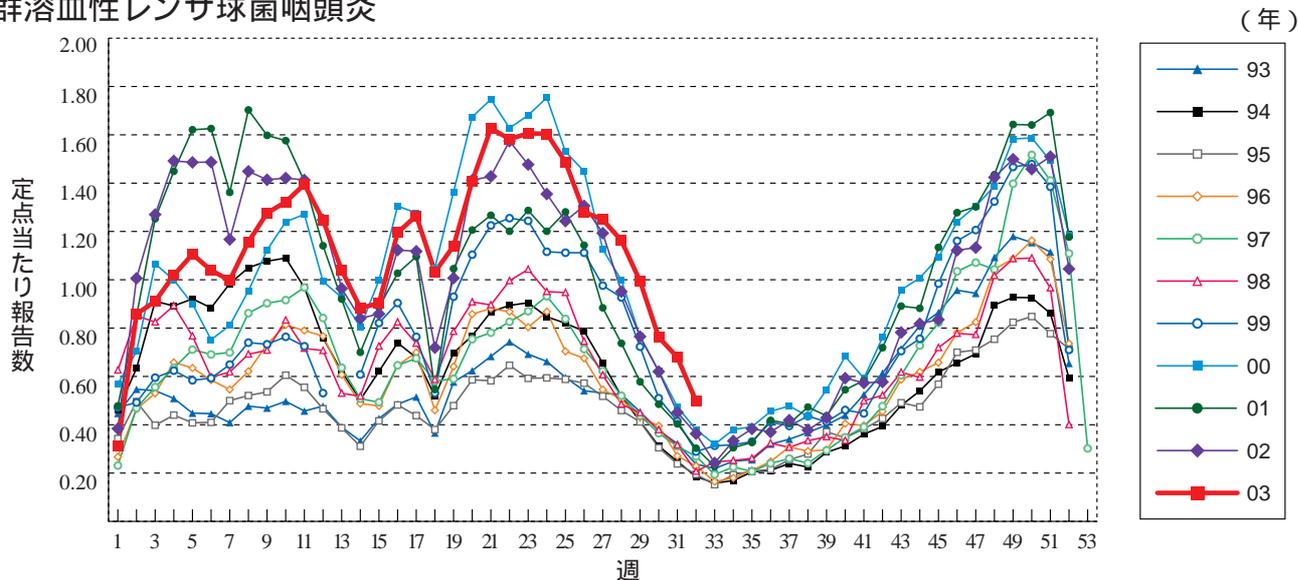
インフルエンザ



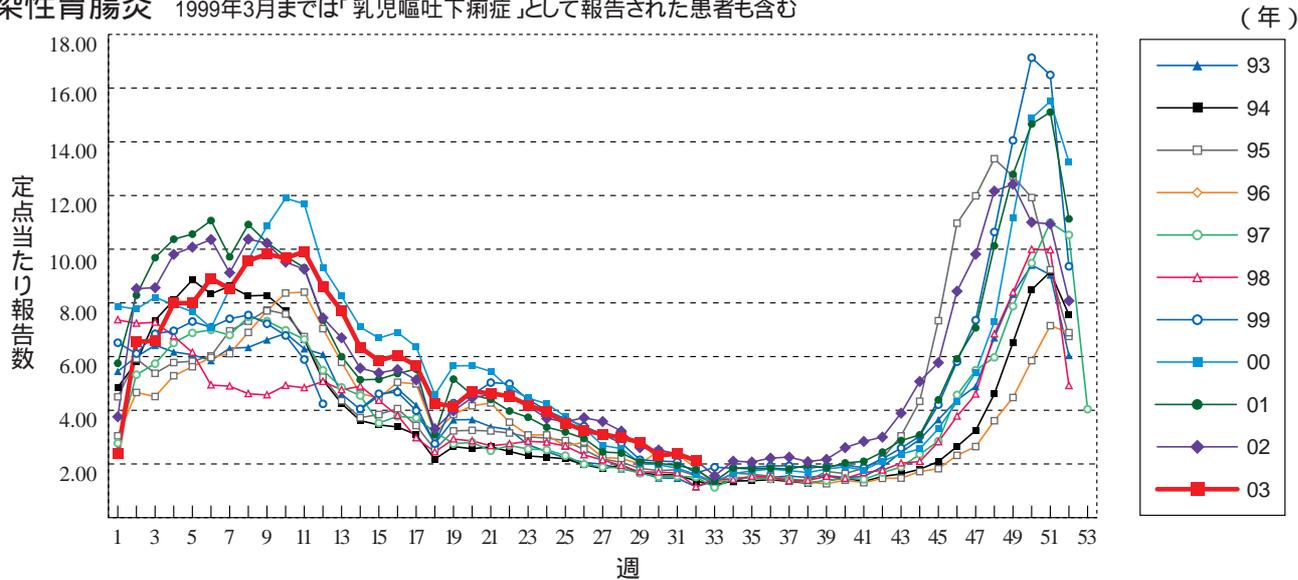
咽頭結膜熱



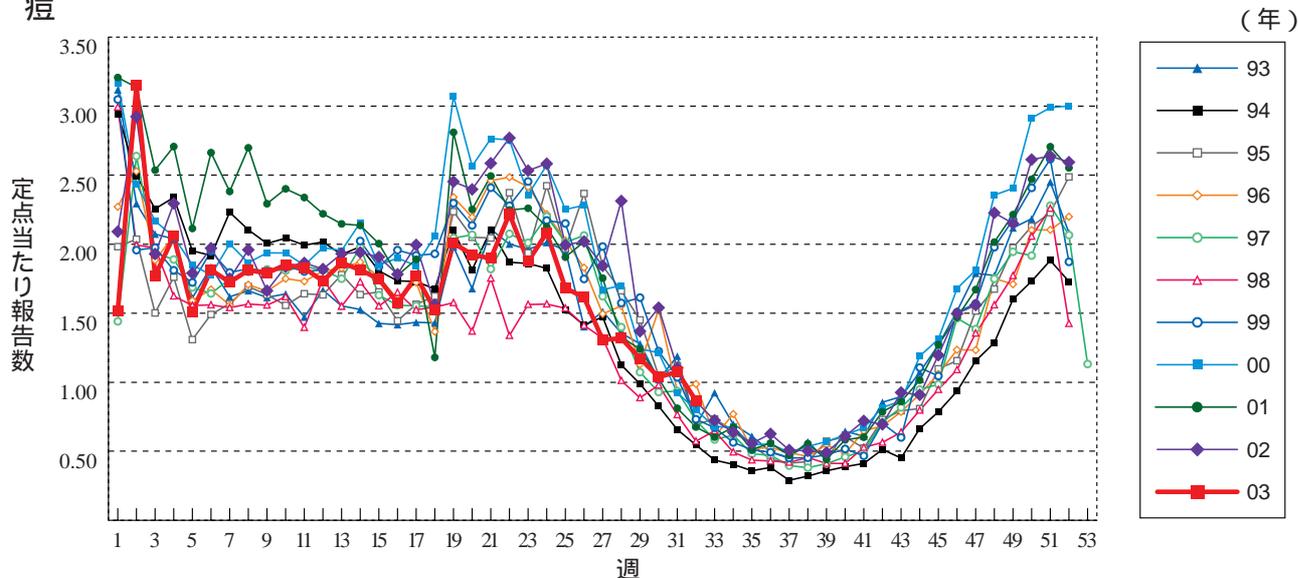
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



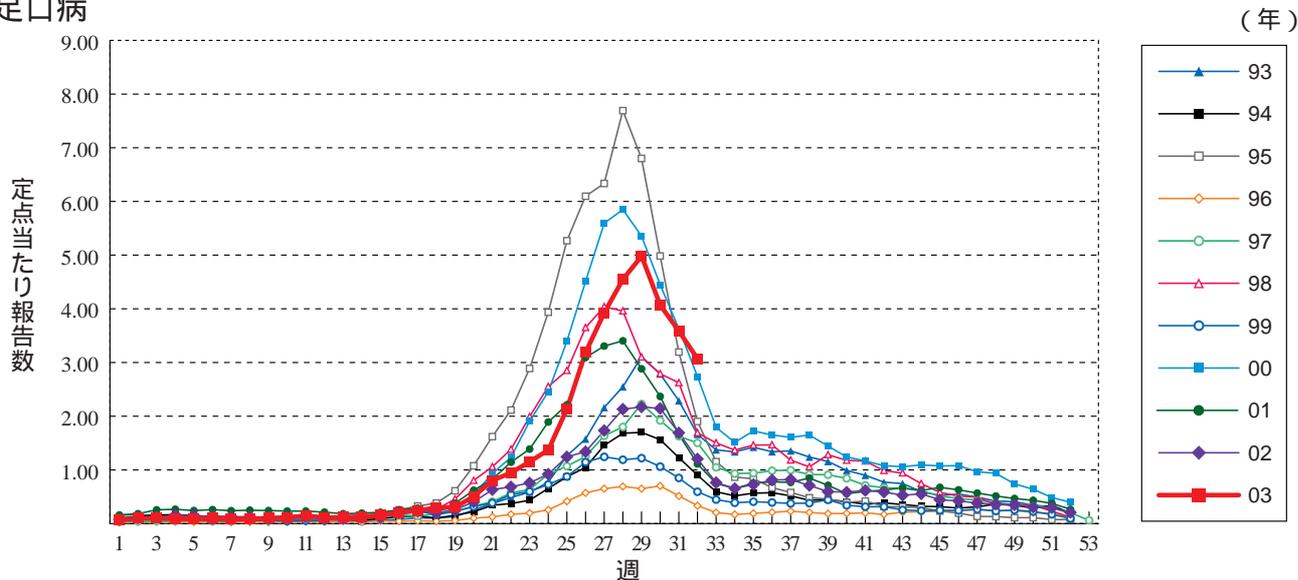
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



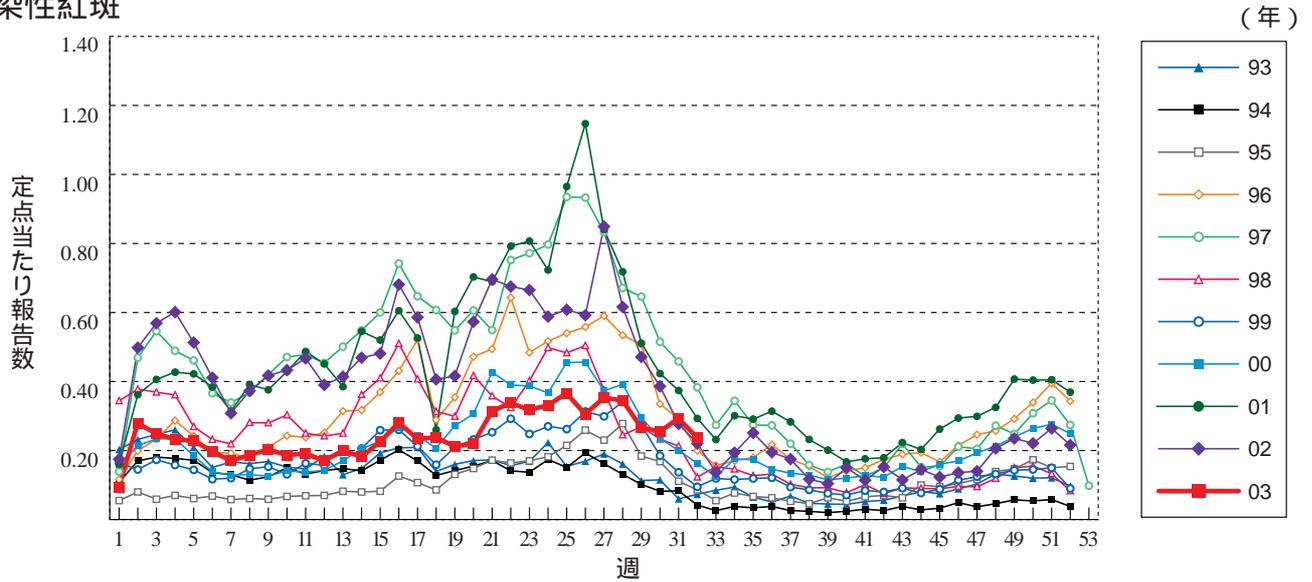
水痘



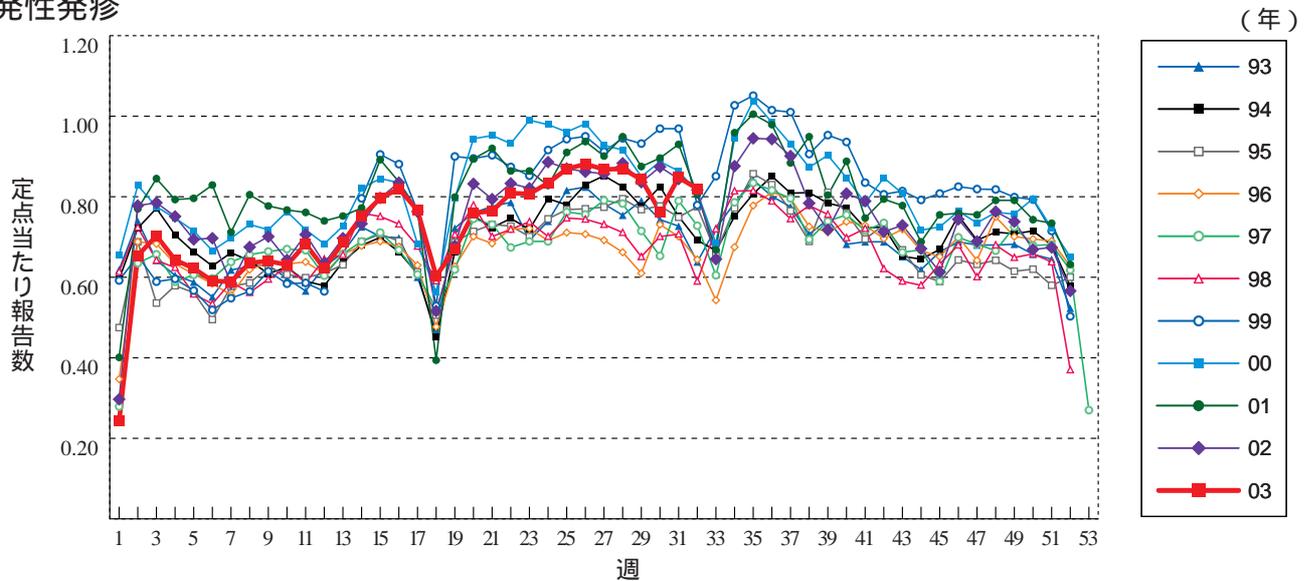
手足口病



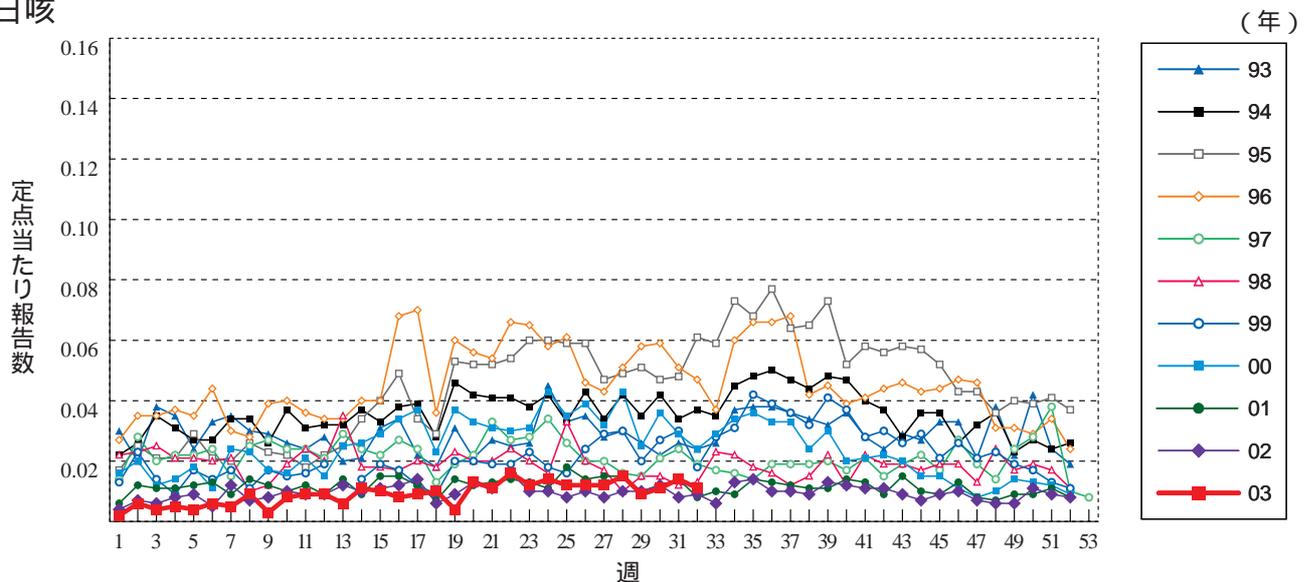
伝染性紅斑



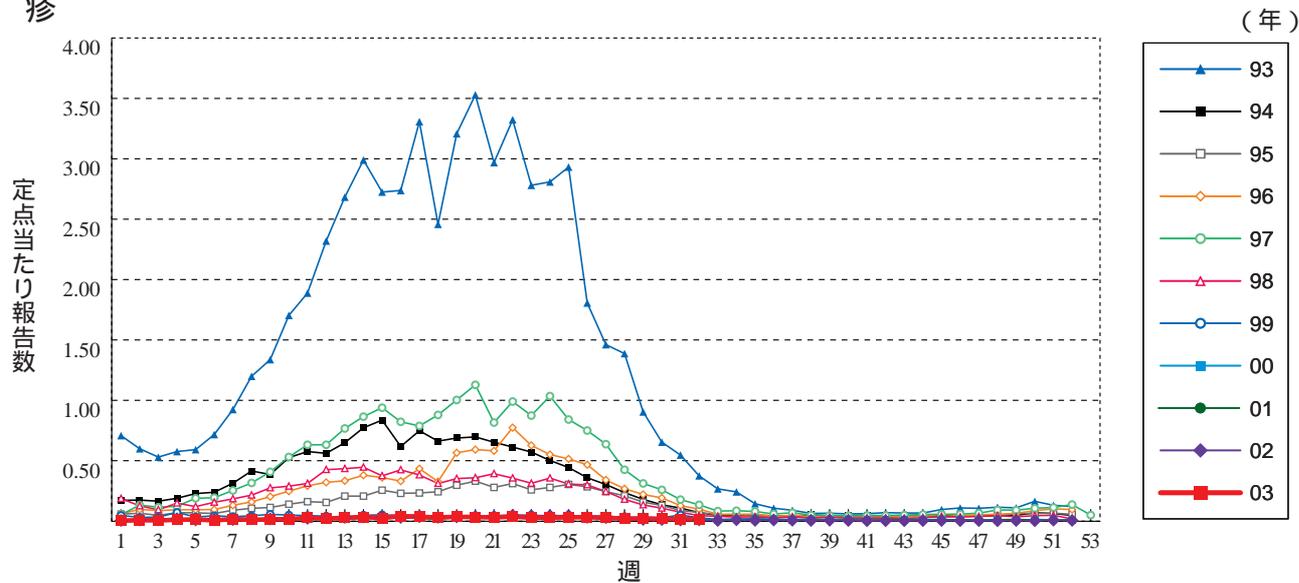
突発性発疹



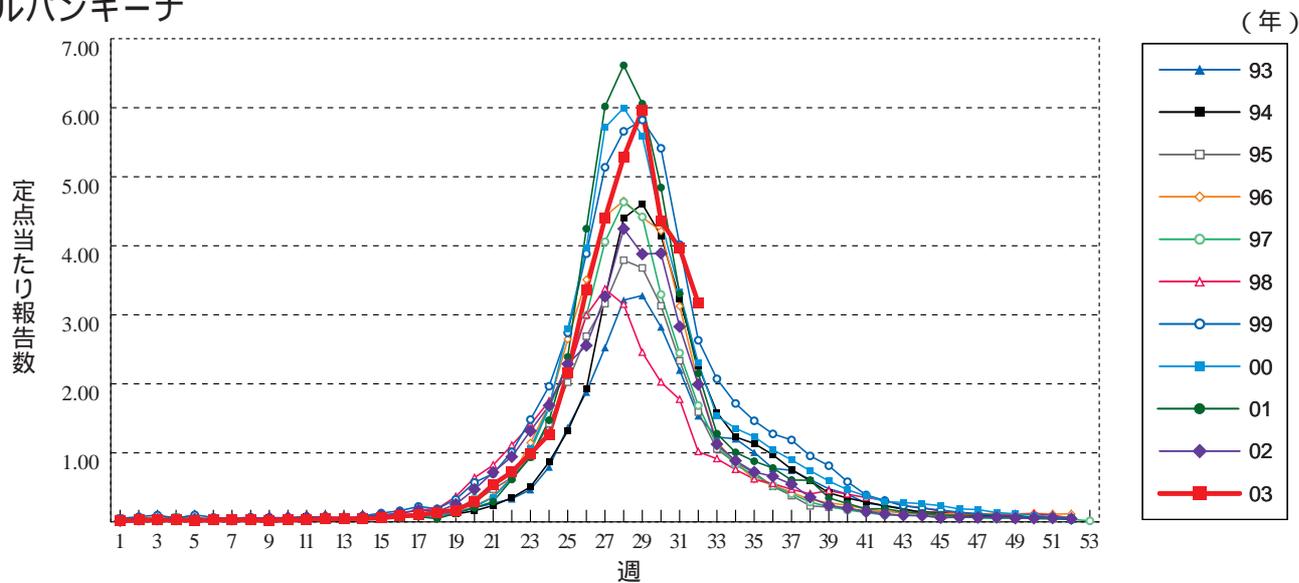
百日咳



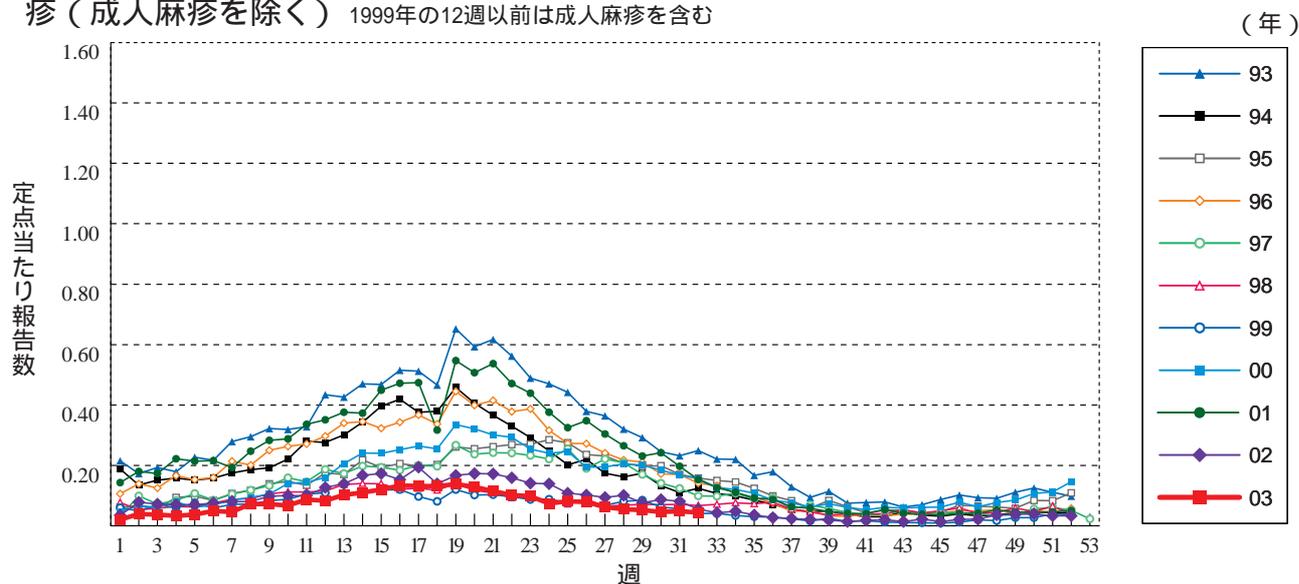
風 疹



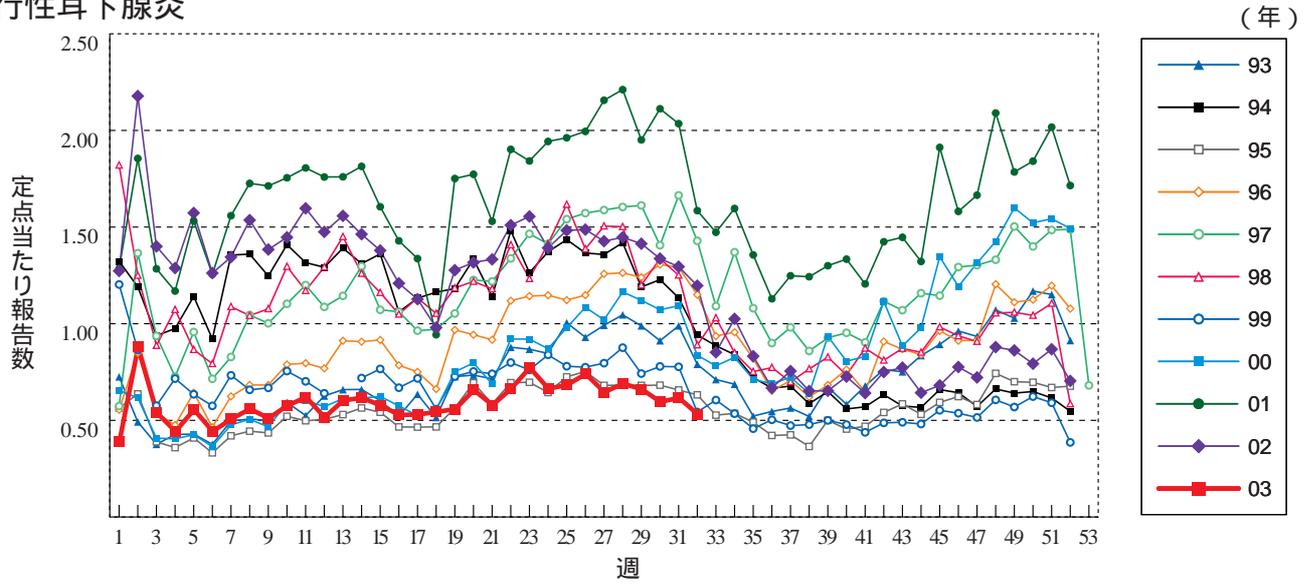
ヘルパンギーナ



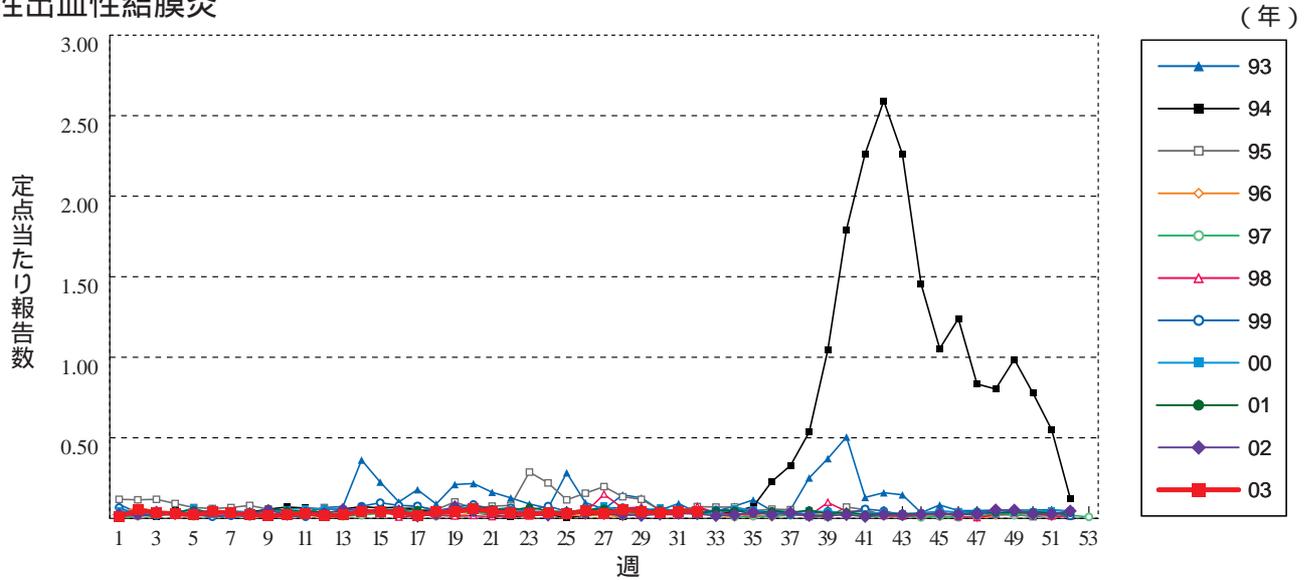
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



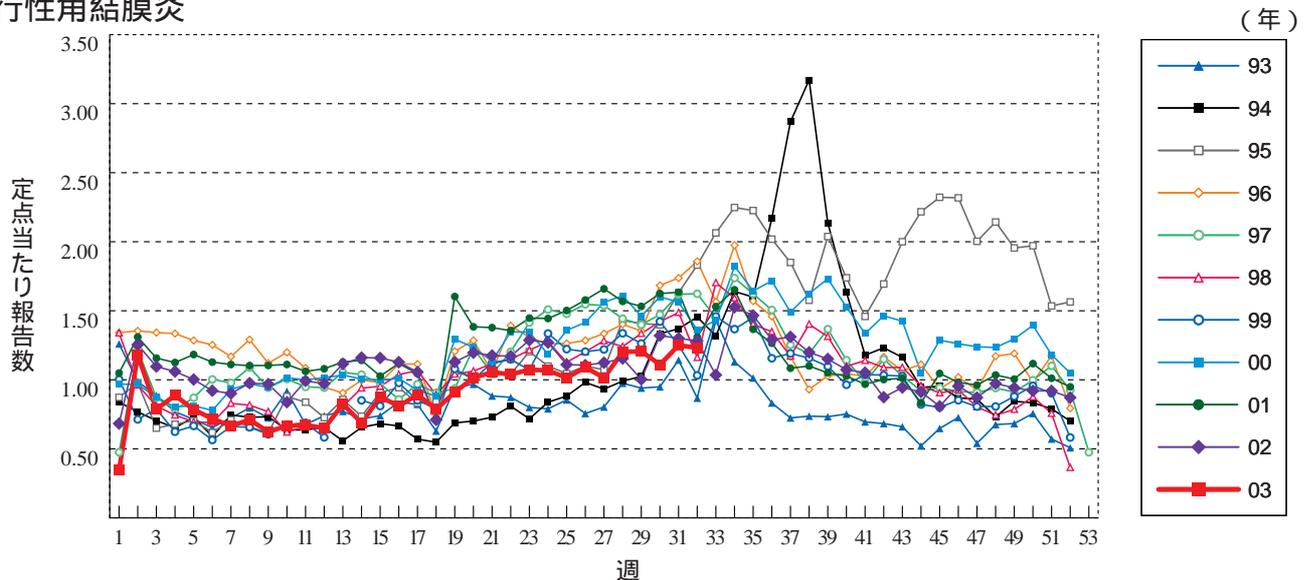
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

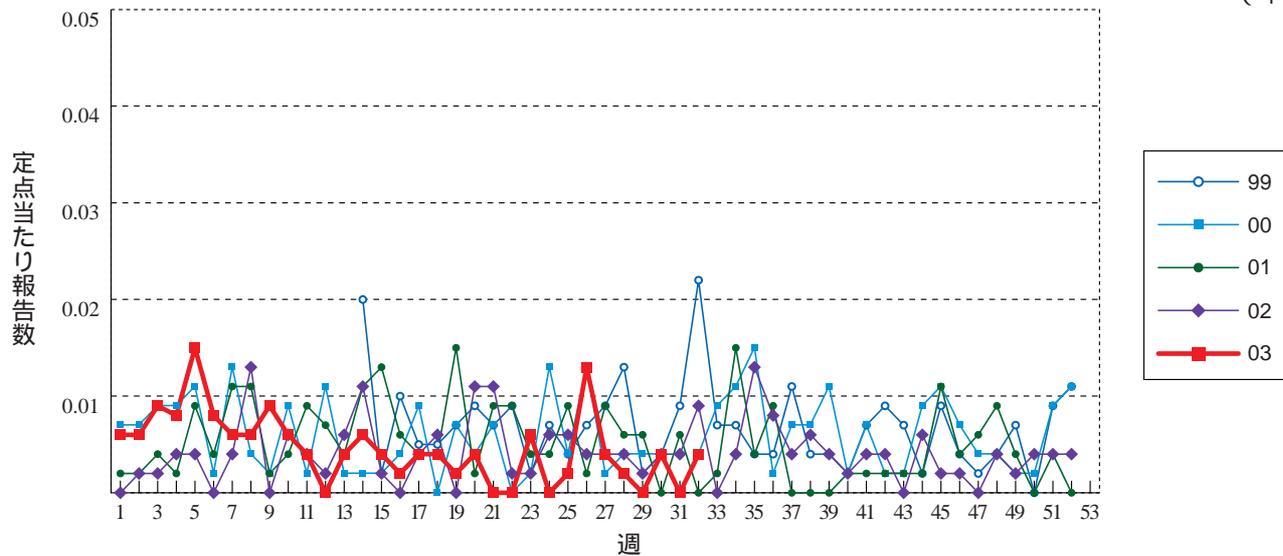


流行性角結膜炎



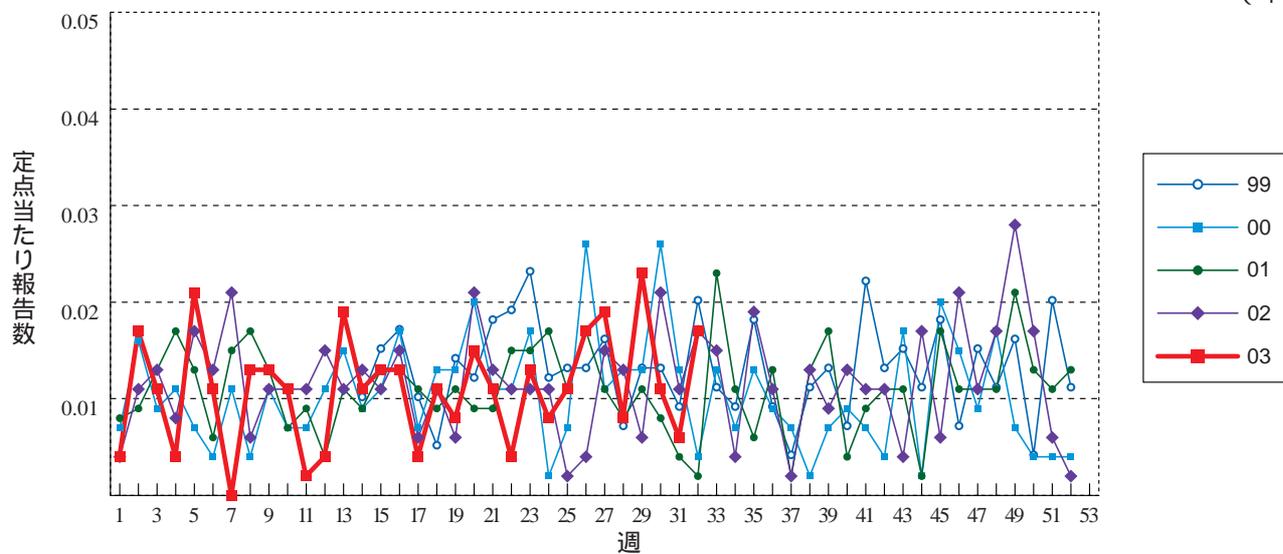
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



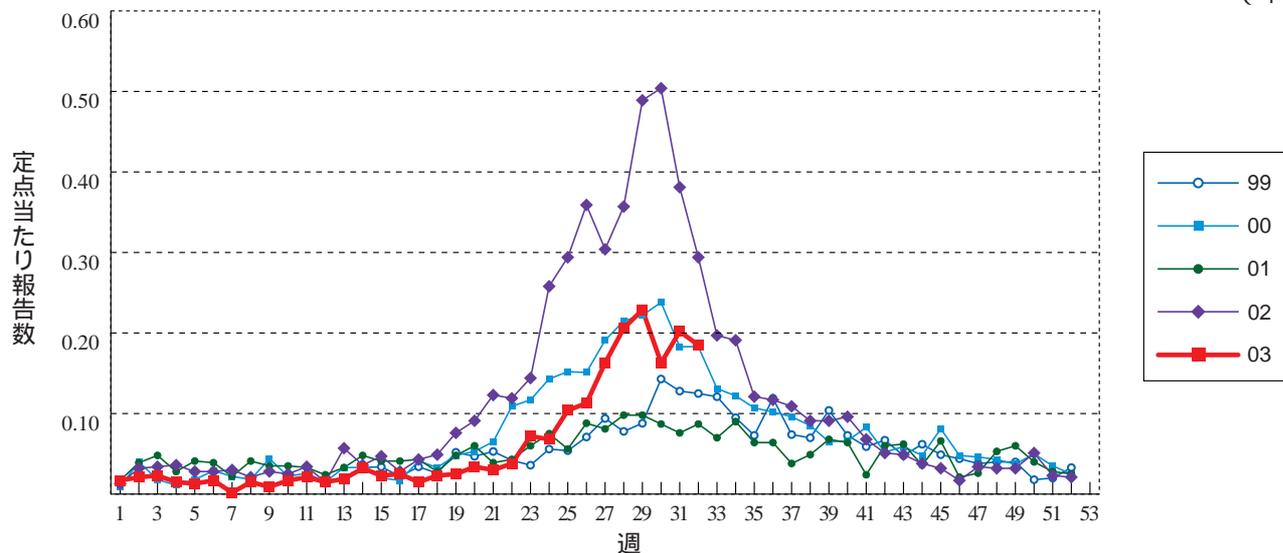
細菌性髄膜炎

(年)



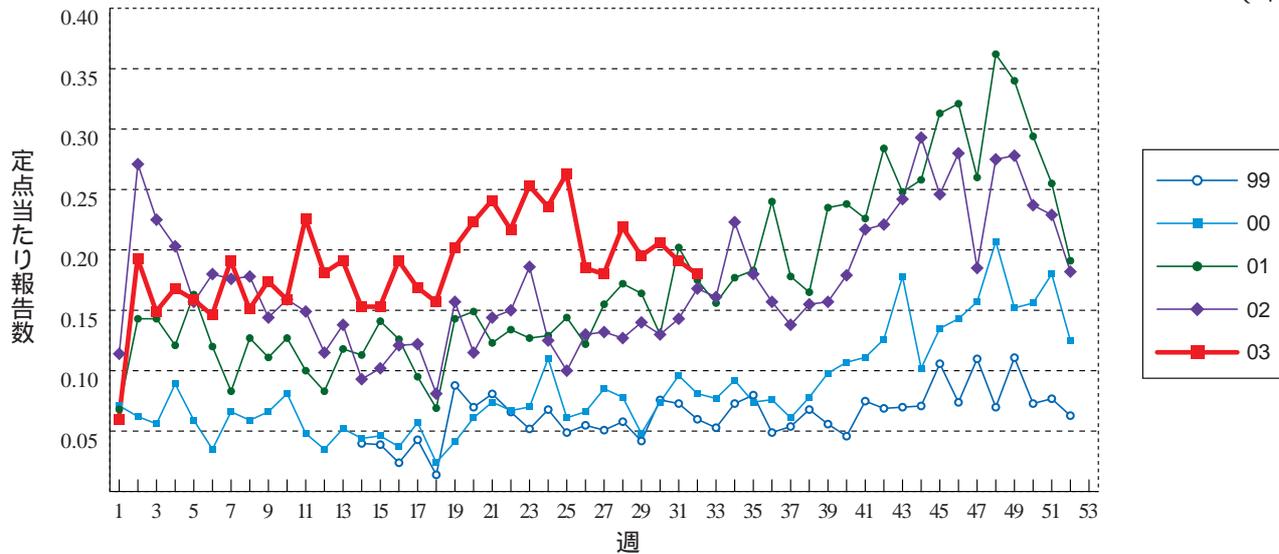
無菌性髄膜炎

(年)



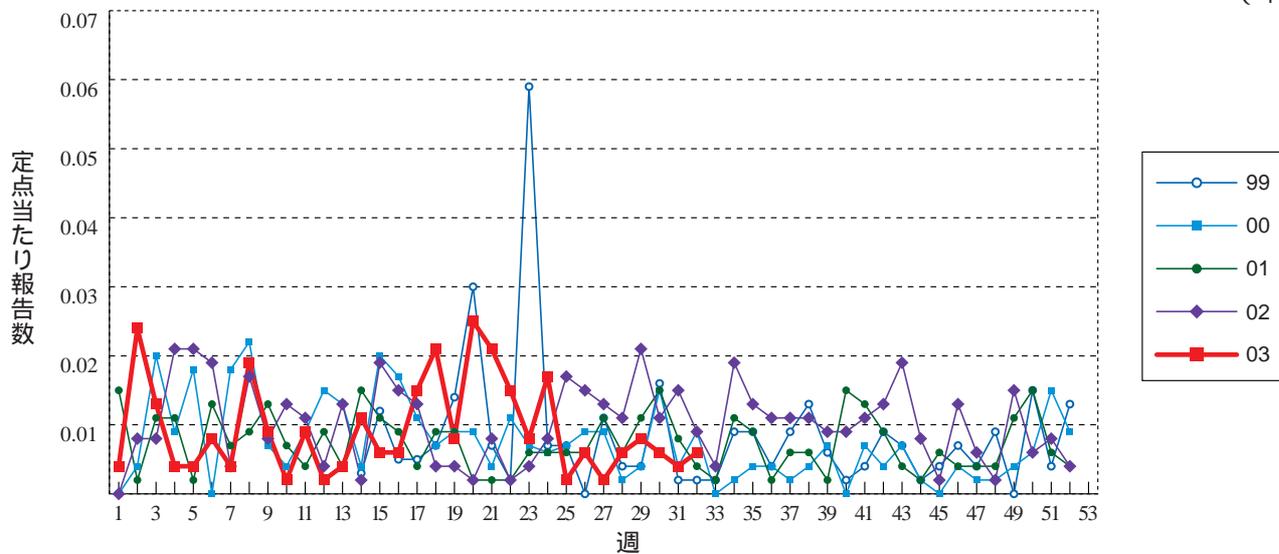
マイコプラズマ肺炎

(年)



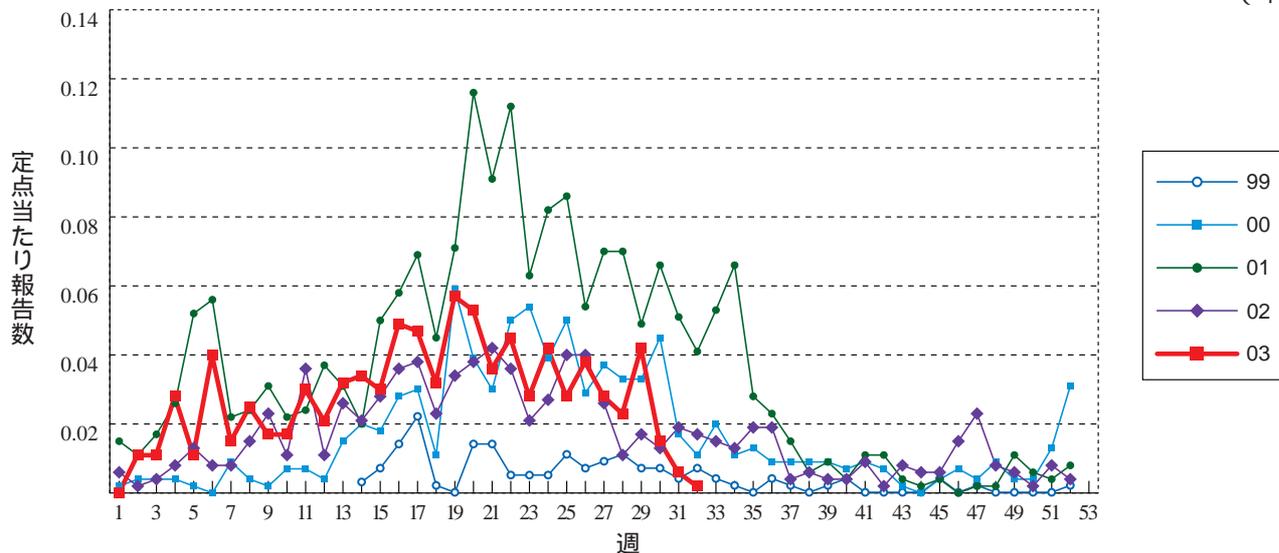
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





32週のデータ

注)表中の報告数は8月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年32週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	19	258	-	35	-	21	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18	-	1	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	56	-	14	-	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	3	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	2	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	14	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年32週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノкокクス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	66	1189	6	309	-	12	-	-	-	33	-	-	4	491
北海道	-	-	-	-	-	23	-	5	-	11	-	-	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	4	17	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	-	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	1	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	13	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	3	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	2	37	1	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
千葉県	-	-	-	-	2	59	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	1	96	1	73	-	-	-	-	-	-	-	-	1	51
神奈川県	-	-	-	-	-	33	1	30	-	-	-	-	-	4	-	-	1	26
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	44	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福井県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	24	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	57	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	2	20	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	3	40	-	28	-	1	-	-	-	2	-	-	-	18
三重県	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	2	31	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	10	76	1	47	-	-	-	-	-	8	-	-	1	48
兵庫県	-	-	-	-	11	87	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	25
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	1	8
和歌山県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	4	65	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	1	17	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	2	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	47	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
佐賀県	-	-	-	-	1	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	3	35	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	2	20	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	3	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年32週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	5	1	73	-	38	10	522	-	1	2	64	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	5	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	24	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	4	-	10	-	3	6	196	-	-	-	24	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	43	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	16	-	-	1	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	32	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	51	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	13	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年32週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	-	1	-	-	1	134	1	21	1	19	-	-	-	-	2	304
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	48
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	48
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年32週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	40	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	-	4	-	79
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	8
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	4
新潟県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年32週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年32週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	15	0.00	1854	0.61	1510	0.50	6438	2.12	2630	0.87	9309	3.07	723	0.24	2487	0.82	34	0.01
北海道	3	0.01	31	0.21	80	0.55	159	1.10	198	1.37	256	1.77	125	0.86	86	0.59	1	0.01
青森県	-	-	8	0.19	24	0.57	61	1.45	62	1.48	353	8.40	2	0.05	34	0.81	-	-
岩手県	-	-	30	0.79	15	0.39	42	1.11	65	1.71	131	3.45	2	0.05	27	0.71	1	0.03
宮城県	-	-	5	0.08	23	0.39	124	2.10	121	2.05	170	2.88	33	0.56	52	0.88	-	-
秋田県	-	-	26	0.76	11	0.32	112	3.29	16	0.47	142	4.18	2	0.06	24	0.71	-	-
山形県	-	-	7	0.23	33	1.10	69	2.30	19	0.63	79	2.63	1	0.03	34	1.13	2	0.07
福島県	-	-	10	0.21	18	0.38	77	1.60	62	1.29	168	3.50	4	0.08	50	1.04	-	-
茨城県	1	0.01	28	0.38	44	0.59	106	1.43	74	1.00	227	3.07	7	0.09	36	0.49	-	-
栃木県	-	-	29	0.63	17	0.37	84	1.83	33	0.72	146	3.17	8	0.17	32	0.70	1	0.02
群馬県	-	-	11	0.18	34	0.55	102	1.65	103	1.66	207	3.34	12	0.19	55	0.89	1	0.02
埼玉県	-	-	75	0.49	97	0.64	280	1.84	138	0.91	631	4.15	41	0.27	122	0.80	1	0.01
千葉県	-	-	42	0.33	83	0.65	231	1.82	118	0.93	555	4.37	32	0.25	102	0.80	1	0.01
東京都	-	-	66	0.46	26	0.18	202	1.42	69	0.49	417	2.94	32	0.23	61	0.43	2	0.01
神奈川県	-	-	113	0.55	57	0.28	342	1.67	131	0.64	532	2.60	46	0.22	150	0.73	2	0.01
新潟県	-	-	38	0.63	38	0.63	142	2.37	85	1.42	458	7.63	23	0.38	44	0.73	-	-
富山県	-	-	25	0.86	37	1.28	81	2.79	17	0.59	105	3.62	13	0.45	28	0.97	-	-
石川県	-	-	17	0.59	18	0.62	104	3.59	31	1.07	32	1.10	6	0.21	22	0.76	-	-
福井県	-	-	20	0.91	9	0.41	102	4.64	17	0.77	36	1.64	7	0.32	32	1.45	-	-
山梨県	1	0.02	10	0.40	9	0.36	39	1.56	22	0.88	73	2.92	8	0.32	14	0.56	-	-
長野県	-	-	83	1.51	25	0.45	116	2.11	92	1.67	338	6.15	23	0.42	51	0.93	-	-
岐阜県	-	-	21	0.40	10	0.19	45	0.85	35	0.66	136	2.57	14	0.26	25	0.47	-	-
静岡県	-	-	71	0.83	43	0.50	198	2.30	57	0.66	314	3.65	39	0.45	89	1.03	1	0.01
愛知県	-	-	86	0.47	88	0.48	283	1.55	180	0.99	481	2.64	75	0.41	150	0.82	1	0.01
三重県	-	-	51	1.13	27	0.60	172	3.82	29	0.64	53	1.18	25	0.56	66	1.47	1	0.02
滋賀県	-	-	22	0.69	14	0.44	58	1.81	20	0.63	30	0.94	8	0.25	18	0.56	2	0.06
京都府	-	-	27	0.36	26	0.34	179	2.36	51	0.67	142	1.87	3	0.04	44	0.58	-	-
大阪府	3	0.01	128	0.66	73	0.37	445	2.28	91	0.47	207	1.06	17	0.09	117	0.60	1	0.01
兵庫県	3	0.02	94	0.73	46	0.36	363	2.84	103	0.80	274	2.14	18	0.14	121	0.95	3	0.02
奈良県	-	-	21	0.60	19	0.54	52	1.49	23	0.66	61	1.74	7	0.20	17	0.49	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	11	0.35	58	1.87	13	0.42	35	1.13	3	0.10	11	0.35	3	0.10
鳥取県	-	-	21	1.11	27	1.42	101	5.32	16	0.84	140	7.37	-	-	21	1.11	-	-
島根県	-	-	4	0.17	6	0.26	46	2.00	24	1.04	72	3.13	1	0.04	21	0.91	-	-
岡山県	-	-	9	0.17	11	0.20	95	1.76	29	0.54	187	3.46	2	0.04	36	0.67	-	-
広島県	-	-	75	1.00	54	0.72	205	2.73	94	1.25	382	5.09	19	0.25	79	1.05	2	0.03
山口県	-	-	35	0.71	44	0.90	131	2.67	45	0.92	420	8.57	9	0.18	62	1.27	-	-
徳島県	-	-	17	0.74	10	0.43	53	2.30	7	0.30	20	0.87	4	0.17	18	0.78	2	0.09
香川県	-	-	25	0.78	5	0.16	81	2.53	12	0.38	49	1.53	2	0.06	22	0.69	-	-
愛媛県	-	-	62	1.59	20	0.51	138	3.54	25	0.64	306	7.85	5	0.13	57	1.46	1	0.03
高知県	-	-	33	1.06	24	0.77	57	1.84	14	0.45	48	1.55	3	0.10	13	0.42	1	0.03
福岡県	-	-	117	0.98	84	0.70	348	2.90	123	1.03	438	3.65	10	0.08	152	1.27	2	0.02
佐賀県	-	-	19	0.83	24	1.04	19	0.83	11	0.48	33	1.43	1	0.04	34	1.48	-	-
長崎県	-	-	13	0.30	16	0.36	54	1.23	15	0.34	83	1.89	4	0.09	18	0.41	-	-
熊本県	-	-	36	0.73	31	0.63	120	2.45	23	0.47	66	1.35	1	0.02	60	1.22	-	-
大分県	-	-	74	2.06	25	0.69	135	3.75	25	0.69	119	3.31	2	0.06	52	1.44	-	-
宮崎県	-	-	35	0.95	44	1.19	200	5.41	38	1.03	46	1.24	12	0.32	61	1.65	-	-
鹿児島県	2	0.02	69	1.17	28	0.47	199	3.37	29	0.49	78	1.32	4	0.07	53	0.90	1	0.02
沖縄県	2	0.03	3	0.09	2	0.06	28	0.82	25	0.74	33	0.97	8	0.24	14	0.41	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年32週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	54	0.02	9615	3.17	135	0.04	1613	0.53	27	0.04	777	1.23	2	0.00	8	0.02	87	0.18
北海道	21	0.14	428	2.95	2	0.01	81	0.56	1	0.03	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	5	0.12	155	3.69	-	-	31	0.74	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	51	1.34	3	0.08	21	0.55	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	386	6.54	28	0.47	62	1.05	2	0.18	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	158	4.65	1	0.03	11	0.32	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	199	6.63	-	-	3	0.10	-	-	14	1.75	-	-	-	-	4	0.40
福島県	1	0.02	406	8.46	5	0.10	43	0.90	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	108	1.46	2	0.03	15	0.20	2	0.13	31	1.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	160	3.48	2	0.04	25	0.54	-	-	18	1.50	-	-	1	0.14	1	0.14
群馬県	-	-	159	2.56	1	0.02	78	1.26	-	-	26	1.86	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	1	0.01	545	3.59	16	0.11	74	0.49	-	-	38	1.09	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	425	3.35	8	0.06	43	0.34	2	0.06	26	0.81	1	0.08	-	-	6	0.46
東京都	1	0.01	372	2.62	2	0.01	13	0.09	-	-	17	1.21	-	-	-	-	4	0.16
神奈川県	3	0.01	557	2.72	5	0.02	74	0.36	1	0.02	64	1.56	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	361	6.02	-	-	42	0.70	-	-	7	0.78	-	-	1	0.08	3	0.25
富山県	-	-	165	5.69	-	-	4	0.14	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	108	3.72	-	-	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	56	2.55	3	0.14	2	0.09	-	-	4	1.33	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	54	2.16	-	-	2	0.08	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	403	7.33	2	0.04	6	0.11	-	-	5	0.45	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	1	0.02	116	2.19	-	-	12	0.23	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	263	3.06	1	0.01	67	0.78	-	-	20	1.00	-	-	1	0.10	3	0.30
愛知県	1	0.01	341	1.87	10	0.05	142	0.78	-	-	55	1.57	-	-	-	-	1	0.08
三重県	-	-	208	4.62	2	0.04	17	0.38	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	85	2.66	-	-	32	1.00	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	3	0.43
京都府	-	-	107	1.41	1	0.01	19	0.25	-	-	23	1.28	-	-	-	-	2	0.40
大阪府	2	0.01	295	1.51	5	0.03	49	0.25	2	0.04	28	0.57	-	-	-	-	8	0.53
兵庫県	-	-	465	3.63	3	0.02	188	1.47	2	0.06	31	0.89	1	0.08	-	-	5	0.42
奈良県	1	0.03	74	2.11	3	0.09	14	0.40	1	0.11	3	0.33	-	-	-	-	6	1.00
和歌山県	1	0.03	90	2.90	6	0.19	8	0.26	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	72	3.79	-	-	15	0.79	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
島根県	-	-	50	2.17	9	0.39	3	0.13	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	0.11	213	3.94	2	0.04	26	0.48	-	-	56	4.67	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	199	2.65	2	0.03	25	0.33	-	-	31	1.55	-	-	-	-	7	0.33
山口県	-	-	155	3.16	-	-	62	1.27	-	-	15	1.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	86	3.74	-	-	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	148	4.63	-	-	13	0.41	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	238	6.10	-	-	4	0.10	1	0.14	21	3.00	-	-	1	0.17	-	-
高知県	1	0.03	43	1.39	1	0.03	60	1.94	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	394	3.28	3	0.03	62	0.52	2	0.08	40	1.54	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	86	3.74	-	-	19	0.83	-	-	7	1.75	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	86	1.95	4	0.09	17	0.39	4	0.50	20	2.50	-	-	-	-	2	0.18
熊本県	-	-	95	1.94	-	-	12	0.24	4	0.44	34	3.78	-	-	2	0.13	6	0.40
大分県	-	-	161	4.47	-	-	23	0.64	-	-	7	1.40	-	-	-	-	2	0.18
宮崎県	-	-	193	5.22	-	-	22	0.59	1	0.25	10	2.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	79	1.34	3	0.05	53	0.90	-	-	20	3.33	-	-	2	0.17	3	0.25
沖縄県	2	0.06	17	0.50	-	-	10	0.29	-	-	8	0.80	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年32週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	85	0.18	3	0.01	1	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	11	0.55	-	-	-	-
宮城県	1	0.08	1	0.08	-	-
秋田県	1	0.14	-	-	-	-
山形県	5	0.50	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.31	2	0.15	-	-
東京都	3	0.12	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	1	0.20	-	-	-	-
大阪府	10	0.67	-	-	1	0.07
兵庫県	2	0.17	-	-	-	-
奈良県	3	0.50	-	-	-	-
和歌山県	5	0.45	-	-	-	-
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	4	0.44	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	6	0.86	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第32号 平成15年8月22日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。